

## 自宅で眠る五月人形を公開！子どもの健やかな成長を！ おやじの会、梅村庭園で五月人形展

4月19日～5月5日、梅村庭園にて「おやじの会」が主催となり五月人形展を開催しました。人形展は8年ほど前に、自分の子どもなどが成長し自宅で飾られなくなった五月人形を、町内の子どもらに見てもらいたいと始まりました。80年ほど前の兜や手作りの金太郎など、おやじの会が寄付を受けたものや今回借りたもの25点が梅雲亭の座敷に飾られ、町内外の観覧者が訪れました。梅村庭園へ散歩に来たという八雲幼稚園生18人は人形や兜を見て「かっこいい！」「恐い！」「かわいい！」と思いきいに人形を楽しみました。



## 八雲の木彫り熊の技術を学ぼう！ 木彫り熊講座開始

4月25日、木彫り熊資料館のリニューアルされた木彫り熊講座室にて「木彫り熊講座」が始まりました。講座が再開されてから3年目となる今年は、経験者7名、初心者6名の13人となり、キャンセル待ちの申し込み者がいるほどの人気の講座となっています。この日は「吠熊」「這熊」を作るため、のこぎりやノミ等を用い木のブロックを型紙を使って切り出す作業を行いました。今年初参加という女性は「八雲の歴史や住民の気持ちを感じたいと思い受講した。木彫り熊をつくるのは難しい。講座の中で技術を学んでいきたい」と、力強く木を彫りました。



## 熊石地域マリンビジョン推進協議会 ニシンの稚魚放流式

5月20日、熊石漁港で、熊石地域マリンビジョン推進協議会によるニシンの稚魚の放流が行われました。かつてニシンの豊漁で繁栄を誇った檜山沖の回復を目指そうと、せたな～上ノ国、奥尻の日本海沿岸6町でニシン稚魚の放流が順次行われており、この日は、熊石保育園の15名による放流式が行われました。はじめに、檜山南部地区水産技術普及指導所の職員からニシンの生態などについての説明があり、園児たちは水槽の中のニシンの稚魚に興味津々で覗き込んでいました。続いて、海面まで渡したパイプの上に、一人ひとり順番にそとと稚魚を放し、「元気に大きくなって帰ってきてね」と手を振りながら海へ放流しました。



## 私たちは、この事を伝えたい！ 第32回少年の主張八雲大会

5月9日、八雲町民センターにて八雲ライオンズクラブ主催「少年の主張八雲大会」が開催されました。

小学生の部11名、中学生の部16名が参加し、関係者が見守る中、自分が伝えたい学校の出来事、家族への思いなどを力強く主張しました。最優秀賞は小学生の部は林美姫さん（落部小）、中学生の部は笹森一希さん（熊石第二中）が受賞し、渡島大会へ出場します。会場に訪れた人達は、各発表に対し感心しきりで大きな拍手を発表者へ送りました。

